



# 大阪大学 RPA導入奮闘記

どうも。  
ワタシ、阪大公式マスコット  
「ワニ博士」です。  
今日は 宜しくお願いします。



Dr. Wani,  
OU mascot

大阪大学総務部人事課任用係長 貝原 亮  
soumu-jinji-ninyou@office.osaka-u.ac.jp

# はじめに

- 2020年11月にRPA導入実証実験開始
- 人事課・資金管理課が対象
- ソリューションは「WinActor®」
- ベンダーは、NTTデータ関西様

2021年1月6日 日刊工業新聞  
「職員の事務効率化」に向けた取り組み  
として大きく掲載

大学でも進む働き方改革、阪大が事務業務でRPA実証実験  
<https://newswitch.jp/p/25387>



2021.1.6 日刊工業新聞第5面

# なぜ人事課なのか

- 「人事」が見るべきは、PC画面？ 構成員の顔？

## 人事課(特に任用係)は

年間を通じて**定型業務**が多い

### 任用係の業務

学内の常勤教員/非常勤職員等の任免手続き

★年間10,000件以上の契約書発行業務

★上申書受付、チェックリスト・契約書・原議書印刷



RPAの導入を検討しよう!!



<https://winactor.com/case/winactoruse/5531/>

RPA 大学 導入事例



# 人事課での新たな業務改善事例

### 通勤届 (WEB版)

- 通勤届の提出について
  - ・支給要件等 (常勤職員向け (特任等教職員を除く) / 特任等教職員・編制職員・非常勤職員向け) 及び入力欄を確認の上、各項目を入力し、入力内容を確認の上送信してください。 ※教職員基本年俸表 (一) 又は (二) の適用者は、通勤手当の支給対象外です。
  - ・送信後、画面上に受付番号が表示されますので必ず手元にお控えください。
  - ・届は事実発生日以降に提出してください。事実発生日以前に届が提出された場合は、再提出を依頼することがあります。
- 注意事項
  - 通勤手当は、事実発生日の翌月分 (事実発生日が月の初日である時は、その月分) から支給されます。ただし、手当額が継続となる場合で、届出が事実発生日から15日経過後に行われた場合は、届出が受理された日の属する月の翌月分 (受理された日が月の初日であるときは、その月分) から支給されます。
- 入力にあたっての注意事項
  - ※大塚メトロ~北大阪線行については、区分に入力してください。(例:利用種別名「大塚メトロ」出発駅「天王寺」経路名「千原中央」)
  - ※通勤手当の認定範囲は、往復通勤を同じものとして認定することが原則となります。特例の理由があると認められない限り、異なる経路での認定はできません。
  - ※自動車で届出される場合で、他の教職員等が通勤のために利用する自動車等に所属する場合は、必ず備考欄に「●●●●の自動車に所属」と記入してください。
  - ※住居手当の支給対象者が、[住居費に伴い通勤経路を変更する](#)場合は、住居届の提出を別途行ってください。

住居届に関しては、下記をご確認ください。

■住居届■

※教職員基本年俸表 (一) 又は (二) の適用者・特任等教職員・兼任職員・非常勤職員の方は、住居手当の支給対象外です。

その他、不明な点については、総務部人事課給与係までお問い合わせください。

### 共済組合ポータルサイト



The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology  
**Mutual Aid Association**  
OSAKA UNIVERSITY BRANCH  
**PORTAL SITE**

共済組合  
ポータルサイト

人事課  
共済組合係

文部科学省共済組合  
The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology Mutual Aid Association

KKR  
国家公務員共済組合連合会

えらべる倶楽部

オンライン申請

#### 共済組合からのお知らせ

**NEW!** R3.1.22 [まだマイナンバーカードをお持ちでない方へ] QRコード付き交付申請書が順次送付されます。  
R 3.1.5 えらべる倶楽部キャンペーンを更新しました。  
R 3.1.4 共済組合ポータルサイトがオープンしました!

## 通勤手当等諸手当のWEB申請化

従来、紙ベースで提出させ、  
本人→部局→本部としていたプロセスを  
WEB化し、大幅な業務削減を実現

## 共済組合関係手続のポータル化

煩雑だった手続きのプロセスをポータル化し、  
わかりやすさを追求

# RPA導入までの経緯

どうしたら  
導入できる？



- 2019年 秋 RPAの存在を知る
- 冬 人事課で、独自導入に向けて検討開始
- 2020年 春 コロナ禍の在宅勤務期間中に業務の可視化
- 夏 人事課のみで約1700時間/300万円分の創出効果試算

9月 NTTデータ関西との「実証実験」を計画

おお！  
進み始めた！



10月 関係部署調整の上、執行部了承

11月 RPA導入実証実験開始

12月 業務のシナリオ化開始

2021年 1月 シナリオの業務へ展開

他部署への展開

いまここ！



本日 NIIシンポジウム

2月 業務での運用

3月 最繁忙期をRPAで乗り切る



他部署の職員に人事課スタッフがデモを実施



# 過去の定型業務の削減方法

## ・大型システム導入

⇒非効率な定型業務をシステム化

業務の洗い出し、仕様書・マニュアル作成  
多額の初期費用、新たな定型業務の発生

定型業務の重複が多いね。  
システム化して、一元化しよか！  
コンサルもそう言うてたし。



トツプダウン！

## ・集約化、一元化

⇒重複する定型業務の集約

組織の改編、人員の異動を要し、  
心理的抵抗感が大きい。

定型業務「削減」による  
業務の増加が...

大きなメスによる定型業務削減。  
現場混乱に対するアレルギー...





# RPAのメリットを再確認

## ・ 定型業務の代行！


⇒人が行う作業をRPAが肩代わり  
その【創出した】時間を企画業務に！

## ・ スモールスタート！


⇒特定部署で導入可能、規模に応じた運用可  
100万円/年のライセンスで24時間365日

## ・ 効果測定が即時的！

⇒ログで測定可能。ダメならやめられる。  
人 vs RPA ●●作業 = △△件 × □分。



ほな、一度、  
RPAを導入してみよか。



ワタシRPAを導入します！  
時間を「創出」します！  
効果測定もします！

# ボトムアップ！

# 実証実験スケジュール

一歩ずつ！  
確実に！！



①人事課/資金管理課でスタート

②少しずつ、事務機構内でRPAの認知度を拡大中

③他の部課で、RPAに馴染みそうな業務を洗い出し

④事務機構全体でRPAを実践開始。効果測定

⑤一部部局でも活用を始めてみて**本格導入へ！**

年度	令和2年度					令和3年度										
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	...

大阪大学【RPA試行実証期間】

導入効果測定

大阪大学・NTTD関西  
【実証実験期間】

大学スタッフによる自律的運用  
事務機構・部局への展開可能性検証

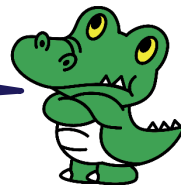
本格導入へ



# 組織内でRPA拡大の鍵①

- ・ 「**正常性バイアス**」 どのように克服するか？

別に困ってへんし。シナリオめんどくさそうやん。今のままでエエよ。



一度、RPA動いてるところをみてみ！こんなこともできるで！  
あんな手続きも、もしかしたらできるかもよ！ね？



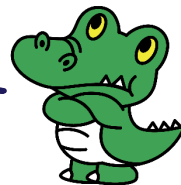
ほんまや！たしかにワタシの係のあの業務できるかも…  
改善の妄想が膨らむわ。



# 組織内でRPA拡大の鍵②

- ・ RPA導入の「**目的**」が伝わっているか？

人員削減のためやろ？もう人も時間も減らされへん！



「削減」が目的ちゃう！「時間の創出」！が目的！  
企画業務・業務改善の相談にあててもいいねんで！



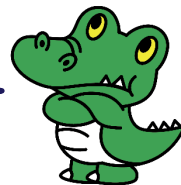
なるほど。ポジティブにとらえたらいいんやな？  
事務はその時間を「企画型業務」に使える。  
先生方はその時間を「教育・研究」に使える。



# 組織内でRPA拡大の鍵③

- 「一部の職員だけ」で盛り上がってないか？

君らだけ楽しそうやねえ？我々は関係ないんやろ？



そうやねえ。確かに楽しい。  
でも、同じことは、あなたの係でもできる！  
使い倒さな損やねん、いっしょにやろ！



そこまでいうなら、ちょっといっしょにやろか...？  
おお！たしかに！これは...楽しい！



# 拡大のための具体例

件名(U) 【緊急告知！】RPA導入ニュース 第8号】

皆さま

お世話になります。【RPA 導入ニュース 第8号】です！

- 【1】緊急告知！【本日14時から！】RPAに大きな仕事をしてもらいます！！（参観可！）
- 【2】RPA システム、他大学の取り組み事例のご紹介。

.....

- 【1】緊急告知！ 本日14時から、RPAに大きな仕事をしてもらいます！！（参観可！）

本日、14時。任用係が独自に作成したシナリオを使って、

「非常勤の上申書（R3.4.1採用分）」の取り込み作業を行います。

これは、既に、200件ほどたまってきている、上申書（今は、各部局のネットワークフォルダにある）をRPAが見に行って、COPPNY上で「チェックリスト」を出力し、「進捗簿」にまとめる。という一連の作業です。

※これは、まだ任用係でもRPA運用を試していません！

もし、200件の任免手続きが、サクサクと動いたら、すごいことだと思いませんか？

（貝原の見立てでは、成功率は低いです。が、ぼそっ）トライ&エラーをしながら進めている現場を見ていただけたらと思います。

今回は、阪大職員が、阪大職員の手と頭で作ったシナリオです。これがうまくいったらば。。。どきどき。

本日14時、興味ある方は、人事課大部屋任用係後ろの打ち合わせスペースへお越しください！

各係1名のご参加を推奨（係長の皆さま、よろしく願います。）拘束時間は、10分かつからない程度かと思ます。

（上記シナリオ運用の失敗に備えて、先日部長会でデモをした「人事記録出力シナリオ」を用意しております。）

- 【2】RPA システム、他大学の取り組み事例のご紹介。

東海国立大学機構（名古屋大、岐阜大）でのRPAシステムの取組が、以下の資料にあります。

[https://www.nii.ac.jp/event/upload/20210114-07\\_Tokai.pdf](https://www.nii.ac.jp/event/upload/20210114-07_Tokai.pdf)

13ページ、14ページ参照してください。

大学全体で約6,400時間が創出できるとい見込みです。

これもすごい時間数ですね。

なお、上記資料は、NIIが実施している、シンポジウム

「大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム『教育機関DXシンポ』」

## 部長会 RPA実行デモ（2021年1月14日）

### ■ RPA導入の経緯

2020年10月19日 理事・部長懇談会にて導入の伺い  
2020年11月17日 阪大、NTTD関西キックオフ打ち合わせ⇒実証実験スタート  
2020年11月26日 業務ヒアリング開始（本格的に始動）  
2020年12月10日 プレスリリース発出  
2021年01月06日 日刊工業新聞に掲載  
そのほか、文教速報、文教ニュースに記事提供、各種ネット記事としても掲載

### ■ 具体的な実証実験の実施状況

【人事課】 任免上申書をネットワークフォルダから抽出し進捗簿に集約する作業  
COPPNYから、任意の人事記録を抽出し、印刷する作業

【資金管理課】 消費税発生源入力手続作業（月次処理）

### ■ デモ作業（人事記録を抽出し・印刷する作業）

- ・まず、従来の作業を、職員が実践します。
- ・同様の作業を、シナリオ化したRPAで実践します。

### ■ RPAを浸透させる3つのコツ（ネットより）

- （1）業務ヒアリングの際にRPAの導入目的について説明する
- （2）実際にRPAロボットが動いているところを見てもらう
- （3）RPAロボットに親しみを持ってもらう

### ■ 今後の方向性

- ・実証実験は、人事課、資金管理課に限るものではありません。
- ・部・課において、興味ある職員には実際にRPAに触れていただきたいです。
- ・強制的に行うものではなく、自発的に興味を持っていただきたいです。
- ・そのような申し出を受け入れられる環境を作っていただきたいと思ます。

### ■ RPA活用に関する職員へのご理解をお願いします

- ・実際にRPAに触れることを業務として認められた職員が、
- ・自身の担当業務における定型作業について、
- ・RPAシナリオを作成し、
- ・当該業務のRPA化を目指す。
- ・そして、そのRPA導入効果を実感し、RPAを理解していただく。

⇒不定期で、緩やかな、ミーティング・勉強会・ニュースの共有を実施。  
⇒それぞれが作成したシナリオの共有、所属する課内の皆さんへRPAの拡散。  
⇒興味ある職員がRPAに触れられる機会の後押し、ご理解をお願いいたします。

# 人事課がRPA導入に期待する効果

## • RPAをOJTのツールに! →知らずに業務効率化

RPA活用には、業務の可視化・業務プロセスの整理が必須  
RPAに強い職員が、その能力で、他の職員を育成  
業務効率化も、企画型業務も、スタッフ教育も内製化  
⇒人が人を育成し、Human Resourcesの最大活用!

おしえてあげる!



## • 働き甲斐の向上を! →明日の出勤が楽しみに

「定量的」事務改革から「定性的」事務改革へ  
アンケートの実施によって、企画業務へのシフトを調査予定  
⇒「構成員」が笑顔で楽しい仕事をしているか? 「顔」を見られる!

またあした!



# 来るべきDXへRPAの貢献に期待

## データとデジタルを活用した新しい社会の創造に貢献

■ ボーダーレスな教育による世界的な社会課題解決に貢献する人材育成

- ・ブレンデッド教育
- ・ハイブリッド留学

ASEANキャンパス

■ ライフサイクルマネジメントによる教育の質保証

■ 地域医療のオンライン化の推進

- ・1万床の情報ネットワーク

ビッグデータ解析 × 地域医療

関西圏の医療機関

教育

医療

研究

大学経営



情報基盤

「デジタル化推進」  
+  
「情報セキュリティ」

■ 研究活動のフルオンライン化（シームレス化）  
・オープンサイエンス研究環境の整備

グローバル  
ナレッジパートナー

+ ELSI

- OUDXを可能にする情報基盤の整備
- OUDXを守る情報セキュリティの強化

■ データに基づく大学経営の高度化  
・統合データシステムの構築  
■ OUDXによる働き方改革

- ・テレワーク
- ・ハンコレス
- ・ペーパーレス

経営のためのRPA

授業評価  
シラバス整備  
教育の質保証  
各種申請対応  
学務情報管理  
入試業務

相互のデータ  
共有・交換にもRPA  
は有効!

論文収集  
事務作業削減  
研究時間確保  
申請書作成代行  
委員会受付  
データ解析

データ解析  
レセプト請求  
情報収集・共有  
患者情報収集  
収益チェック  
債権処理

# これからの課題

## • いつまで人事課が率先するべき？

- ⇒全学的に俯瞰して中長期的な視点で管理する組織はどこなのか。
- ⇒どこかの特定の部署が良いのか、チームが良いのか。

## • RPAライセンスをどのように管理するの？

- ⇒学内の基盤システムに入るためにRPAにIDを付すことが必要。
- ⇒複数あるキャンパスに、どのライセンスをどれだけ設置するべきか。
- ⇒どの部署が、いつシナリオを使うのかの時間管理をどうするか。



## • 作成したシナリオの適正な管理方法は？

- ⇒似たようなシナリオの譲り合いが可能。シナリオのライブラリ化が夢。
- ⇒野良ロボットを作らない。RPAブラックボックスを作らない。



# まとめ

## ・ RPA導入は**ボトムアップ**が望ましい

⇒現場の皆さん。あきらめないで！

⇒管理職層の皆さん。まずは、馴染みそうな現場を見つけてください！

⇒先生方。積極的に事務の後押しをお願いします。

## ・ RPAは今後の**大学経営に必須**のソリューション

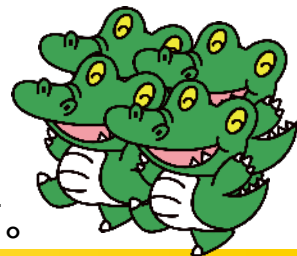
⇒「AI・RPAをはじめとしたデジタル技術の活用」

⇒事務的視点だけでなく、教育サービス、研究力向上、IRにも効果的。

## ・ **積極的な情報開示で学内の仲間を増やす**

⇒外部へのプレスリリースを活用しても、**ターゲットは学内**。

⇒都度、情報を開示して、**現場の状況を共有**しながら浸透を目指す。



# ありがとうございました！

本日は、RPAのお話をさせていただきました。  
くだけた内容となり申し訳ございません…。

**「RPAを導入したい！けどどうすれば？」**

という皆さんと状況を共有できましたら、  
それは、ワタシも、とてもうれしい！  
このような機会をいただきましたこと  
心から、感謝申し上げます。

**ありがとうございました。**

